



TOTTORI



鳥取の伝統工芸品



現代に伝わる
優れた手仕事



販売所
紹介付き♪

TRADITIONAL ARTS & CRAFTS



経済産業大臣指定
伝統的工芸品・伝統工芸士

因州和紙 (昭和五十年指定伝統的工芸品)

鳥取県因州和紙協同組合

〔佐治地区〕

岡村日出正

岡村義行

〔青谷地区〕

長谷川憲人

中原剛

中原寛治

弓浜緋 (昭和五十年指定伝統的工芸品)

鳥取県弓浜緋協同組合

渡辺千代枝

村上一枝

南家敦美

南家均

青砥明子

出雲石灯ろう (昭和五十年指定伝統的工芸品)

鳥取県石灯ろう協同組合



鳥取県伝統工芸士

陶磁器

岩井窯

因久山焼

因州・中井窯

牛ノ戸焼

浦富焼

延興寺窯

山根窯

上神焼

上神焼上神山窯

国造焼

福光焼

大山焼久古窯

法勝寺焼皆生窯

法勝寺焼松花窯

山本教行

芦沢良憲

坂本章

小林孝男

平田俊之

山下清志

石原幸二

中森清

山根芳子

山本佳靖

河本賢治

河本慶

鈴木敏之

鈴木治道

安藤釉三

安藤真澄

郷土玩具

木影十二支

土鈴

大山友禅染

筒書き

松田広海

松田成樹

川原榮次

小椋愛子

大坪英治

小橋元

中嶋正義

齋江範人

株本覚

山本絵美子

因幡の踊り傘

澁江傘

挽物

茗荷定治

小林義實

福田豊

西村孝美

大谷耕象

矢山裕二

木製品

挽物

挽物・判物

桐箱

麒麟獅子

その他の工芸品

和太鼓

大柄盤治

大柄重人



とっとりの手仕事 HP
www.pref.tottori.lg.jp/teshigoto

tottori_teshigoto



Google「日本の匠」
鳥取県

お問い合わせ先

鳥取県販路拡大・輸出促進課
(一社)鳥取県物産協会
鳥取県東京本部
鳥取県関西本部
ふるさと鳥取県産業・観光センター

鳥取市東町1-220
鳥取市末広温泉町160
東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階
大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階
名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル5階

☎ 0857-26-7828
☎ 0857-29-0021
☎ 03-5212-9077
☎ 06-6341-3955
☎ 052-262-5411

発行: 鳥取県商工労働部兼農林水産部 市場開拓局 販路拡大・輸出促進課
E-mail: hanro-yusyutsu@pref.tottori.lg.jp

発行日: 令和4年4月



伝統工芸士とは、

経済産業大臣が指定する

伝統的工芸品を製造する技術者のうち、

実務経験が十二年以上あり、

産地組合の技術及び知識試験に合格し、

伝統的工芸品産業振興協会に認定された者をいう。



鳥取県伝統工芸士とは、

鳥取県が指定する郷土工芸品又は

郷土民芸品を製造する技術者のうち、

従事年数が十年以上あり、

その伝統的技術・技法・知識を有するとして

鳥取県知事に認定された者をいう。



本書はこれらの伝統工芸士による作品を集め、紹介します。

和紙

因州和紙

いんしゅうわし



1 2 鳥取県因州和紙協同組合

<http://inshu-washi.net/inshu-washi.htm>

因州和紙の起源は定かではありませんが、奈良時代の正倉院文書の中に、因幡の国で抄紙されたと推測される紙が保存され、平安時代の「延喜式(えんぎしき)(九〇五〜九二七年編纂)に因幡の国から朝廷に紙が献上されたという記録があることから、一三〇〇年と言われる歴史があります。江戸時代には、藩の御用紙としても庶民の使う紙としても盛んに生産されました。

明治時代に入ると、海外や他県から生産技術を導入し、生産性を向上させ、その勢いは大正末期まで続きます。

昭和に入り、洋紙の生産力が上がり、庶民が使用する紙は洋紙が中心になっていきます。さらに戦後、コピー機の台頭や生活様式の変化で、それまでの主力製品であった事務用薄葉紙や障子紙等の需要が激減しました。そこで因州和紙は新製品として画仙用紙等

の書道用紙と工芸紙、染色紙を開発、特に手漉きの高級画仙用紙は日本有数の生産量を誇っています。書き心地が良く、他の和紙では一枚しか書けないところが二枚書けるほど墨の減りが少ないことから「因州筆切れず」と言われ、全国の書道家に愛用されています。そして今、因州和紙は、立体形状の紙や写真プリント用和紙の開発等、新製品の開発に力を注いでいます。因州和紙は常にそれぞれの時代に合わせ技術を導入し、新商品を開発しながら産地を維持してきたのです。



織物

弓浜ゆみはまがすり 紺

江戸時代前期に農家の主婦たちが家族のために仕事着・普段着・布団等を織り始めたのが弓浜紺の起源です。家族の健康と繁栄を祈って織られたため、縁起の良い「鶴亀松竹梅」などがいまでも弓浜紺を代表する模様で、その絵柄の素材さと、ざっくりとした風合いに落ち着いた藍染の紺と白のコントラスト、さらに吸湿・保温性に富んだ線素材が大きな特徴です。化学繊維の発達とともに弓浜紺は衰退していきましたが、伝統的な手織りの良さが見直され、現在は着物地だけでなくテーブルセーター、バッグ、髪留めなど新しい

製品が作られています。弓浜紺は、地元で農業・化学肥料なしで栽培される伯州綿も使われます。伯州綿も江戸時代に砂地でも栽培できる農作物として生産が始まりました。伯州綿は繊維が短く加工が難しいのですが、弾力があって、軽くて暖かいのが特徴です。



3

- [生産者]
- 3 南家織物
☎ 0859-42-3233
境港市外江町3641
 - 4 ごとう餅店
☎ 0859-21-9063
米子市彦名町4261-1
 - 5 村上紺織物
☎ 0859-28-8385
米子市和町922

- [生産者組合]
- 鳥取県弓浜紺協同組合事務局
☎ 080-4731-8712



5

倉吉くらよし 紺

倉吉紺の起源は、江戸時代末期といわれています。美術的で精巧な柄を持った絵紺が特徴です。明治時代、船木・桑田工場から出品した紺は、諸外国の万国博覧会で受賞するなど、名声を博しました。現在では、紺の美しさに魅せられた人たちがその技法を学び、受け継いでいます。



6

7

倉吉紺を手ほどきに織りを始めた吉田祐氏が、倉吉に伝わる「風通（ふうつう）織・そしき織の伝書」を解説し、多綜統による織物を試みました。さらに他産地の織物を研究する中から編み出した技法をもとに製作しています。

- [生産者]
- 6 倉吉紺保存会
☎ 0858-23-2255
倉吉市東仲町2606(ふるさと工芸館内)

- 7 吉田たすく手織工房
☎ 0858-22-2989
倉吉市鍛冶町1-2806

染物

筒書きつつがき

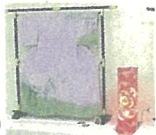
筒書きは、染紙の筒にモチ粉などで作った染めを防ぐのりを入れ、筒の先からのりを押し出して布に模様を染める技法です。代表的なのが、大漁旗で、境港や隠岐島等の漁業関係者の需要に応えるほか、暖簾や法被なども制作しています。



- [生産者]
- 8 松田染物店
☎ 0859-22-3358
米子市紺屋町47

大山だいせん 友禅染ゆうぜんぞめ

絹や木綿等の天然繊維に伝統技法や現代技法を用い、着物から小物まで制作しています。「色を染めて、布を染めて、心を染めて」をキャッチフレーズに伝統美だけでなく、現代美をも表現できる染色を目指しています。



- [生産者]
- 9 手描染アトリエカワハラ
☎ 0859-52-3502
西伯郡伯耆町金屋谷1692-19

陶磁器

岩井窯

吉田璋也の民芸運動に影響を受け、陶芸を志し、昭和四十六年に岩井の地に開窯しました。全国への発信を目標に掲げ、北海道から九州まで各地で作品展を開催しています。伝統的な技法を使いながらも常に新しい作品を発表し、現代の生活様式に合う提案をし続けています。



【生産者】
 10 クラフト館 岩井窯
 ☎ 0857-73-0339
 岩美郡岩美町宇治134-1

延興寺窯

昭和五四年春に開窯しました。地元の陶土・釉薬原料を活用して、手仕事の伝統継承と展開を目標に、日々の生活を潤す作品づくりに取り組んでいます。粉灰や黒石(泥岩)を使った独自の釉薬は、用の美を重視した無駄のない造形に深みを与えています。



【生産者】
 11 延興寺窯
 ☎ 0857-73-1219
 岩美郡岩美町延興寺525-4

浦富焼

浦富では、江戸の末期から明治維新により廃藩になるまで数十年間、国産奨励の政策のもと出石の陶工を招いて染付の日用雑器が焼かれていました。昭和四十六年に浦富山麓に再び窯を築き、白磁・染付・黒刷毛を主に製作しています。



【生産者】
 12 浦富焼窯元
 ☎ 0857-72-0250
 岩美郡岩美町浦富3174-3

牛ノ戸焼

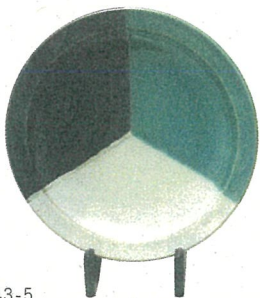
昭和初期に衰退していた牛ノ戸焼を復興させたのは、民芸家の吉田璋也の指導と四代目の努力によるものでした。素朴な民芸調で太く堅牢なところに特色があり、主に日用雑器が焼かれています。



【生産者】
 13 牛ノ戸焼窯元
 ☎ 0858-85-0655
 鳥取市河原町牛戸185

因州・中井窯

昭和二十年に登り窯を築き、鳥取の民芸家、吉田璋也の指導を受け、日本民芸館展等に多数入選。用と美をテーマに真の民芸品を製作しています。使用する粘土は地元のもので釉薬は、黒釉、緑釉、白釉を主としています。



【生産者】
 14 因州・中井窯
 ☎ 0858-85-0239
 鳥取市河原町中井243-5

因久山焼

江戸時代中期に、鳥取藩主池田侯に招かれた京都の陶工が築窯し、藩の御用窯として茶器などを焼かせたのが始まりといわれています。吉くから伝わる登り窯で焼かれ、わら灰効薬を使っている独特の味わいを出しています。



【生産者】
 15 因久山焼窯元
 ☎ 0858-72-0278
 八頭郡八頭町久能寺649

山根窯

やまねがま

昭和六十年春、青谷町山根の地に開窯しました。蹴りロクロを使い、登り窯にて焼成されています。伝統的な仕事の中に明るく健康な暮らしの器を目指し作り続けています。



[生産者]
山根窯
☎ 0857-86-0531
鳥取市青谷町山根190-1

国造焼

こくぞうやき

明治二十三年に創業。不入岡の近くには伯耆のみやつこをまつた大將像があり「こくぞうさん」と呼び親しまれていたことから、その名にあやかっって昭和五十年に初代が「国造焼」として創始しました。焼締め窯変の花器などのほか、わら灰釉等の釉薬を施した日常のシンプルな造形のうつわを製作しています。



[生産者]
国造焼
☎ 0858-22-8388
倉吉市不入岡390

福光焼

ふくみつやき

鉄による黒釉（黒化粧）と鉛釉とのコントラストを生かし、高台は深く削り出し、薄手ながらも重厚な作風が特徴です。登り窯にて焼成、出来上がるまでのプロセスを楽しみ、心安らぐ器作りを目指しています。



[生産者]
福光焼
☎ 0858-28-0605
倉吉市福光800-1

上神焼

かづわやき

この地方では、古くから伯尾山、伯州尾山といった名称で製陶が行われていました。現在の上神焼窯元は、昭和一八年に初代窯主によって築かれたもので、京風の作りに地方色をとりいれて、伝統と新しい手法で焼成するのが特徴です。

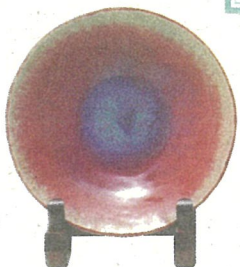


[生産者]
上神焼窯元
☎ 0858-22-8389
倉吉市不入岡395

上神焼上神山窯

かづわやきかづわざんがま

絶えかけていた上神焼の再興を願って窯を開いたのが初代です。初代は平野桐雲に師事し、その作風は長い伝統と色鮮やかな辰砂の上神焼として好評を受け、さらに現在では辰砂はもとより油滴点目、金彩窯変など新しい分野も得意としています。



[生産者]
上神焼上神山窯
☎ 0858-22-5705
倉吉市上神326-1

法勝寺焼松花窯

ほつしょうじやきしょうかがま

約二五〇年前、江州（滋賀県）の陶工文助により製陶が始められたと伝えられています。会見焼と呼ばれた時期もありましたが、この伝統を受け継ぎ、明治三八年に初代が築窯して法勝寺焼を創設。土瓶などに良く表れている焼き上がりの柔らかさが特徴です。



[生産者]
法勝寺焼松花窯
☎ 0859-66-2052
西伯郡南部町落合257

大山焼久古窯

だいせんやきくこがま

大正時代に焼かれていた大山焼を再興し、昭和四五年開窯、素朴さと現代感覚をそなえた焼き物を製作しています。鉄釉を主として使用・研究し、変化に富んだ魅力ある陶磁器で、玉鋼耀天目をはじめ、青瓷・油滴・均窯・灰釉等を焼いています。



[生産者]
大山焼久古窯
☎ 0859-68-2098
伯耆町久古1401

法勝寺焼皆生窯

ほつしょうじやきかいけがま

昭和三六年に、法勝寺焼二代目松花窯の脇窯として皆生に登り窯を築いたのが始まり。手法、焼成は、法勝寺焼松花窯と同じなのですが、皆生の砂、日野川河口の砂鉄を粘土や釉薬の中に混ぜるなどの新しい技法も取り入れて製作が続けられています。



[生産者]
法勝寺焼皆生窯
☎ 0859-33-2826
米子市皆生温泉2-19-52

木製品

麒麟獅子きりんじし

江戸時代より、平和を願い舞い継がれている麒麟獅子は、お祭りやお正月に、ところによっては結婚式でも舞われる因幡地方(鳥取県東部)に伝わる独特の伝統芸能です。この貴重な風習が後世に受け継がれるように、獅子頭の復元制作、修理を行い、ミニチュアの置物、壁掛けも製作しています。

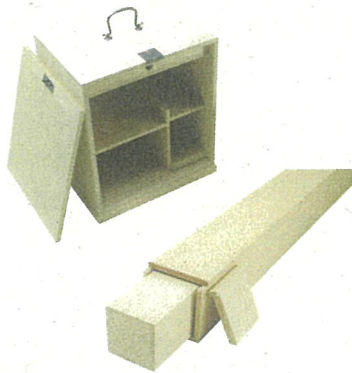


[生産者]
 ㊦ 矢山彫刻
 ☎ 080-5234-5416
 八頭郡八頭町東677



桐箱きりばこ

桐の歴史は古く、天平の昔に雅楽面などの歌舞用具に使われていました。家具の発達に伴い、鎌倉時代には鎧櫃・刀剣箱・富裕階層の高級調度品などに使われ、江戸時代に至って大衆に使われるようになりました。桐箱は、収納物を湿気から守り、軽い・狂いが無い・燃えにくいなどの特性があるため、現在では、掛け軸箱・茶碗箱・茶道具入・屏風入・花瓶箱・色紙箱などが作られています。



[生産者]
 ㊦ 大谷桐工
 ☎ 0858-72-0558
 八頭郡八頭町船岡1827-1

挽物・刳物・指物ひきもの・くりもの・さしもの

因幡・伯耆の国は杉・檜・松・栗・樺・榎・ブナ・槐など古くから各種の材料に恵まれた土地でした。これら豊かな材料を求めて昔から往来していた木地師や、城下町に住む武士達の日用調度品を作る御用職人が地道にその伝統技術を伝えてきました。昭和初期の民芸運動以来、時代に合った木工品が盛んに作られるようになり、今も各地にその気風が息づいています。



㊦ 小林挽物店
 ☎ 0858-82-1530
 八頭郡若桜町若桜67



㊦ 鳥取民芸木工
 ☎ 0858-28-3037
 倉吉市黒見407-1

竹製品

竹細工

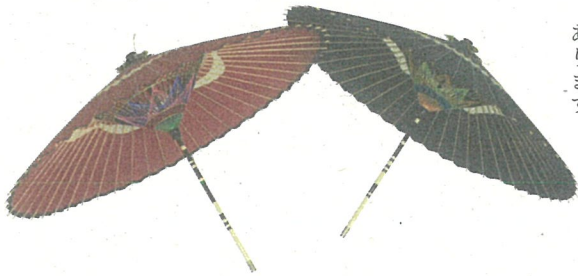
弾力性に富み、耐久性に優れている竹は、古くから様々な形に使用されてきました。鳥取県の竹細工は主に庶民の生活に密着した日常道具として発展しました。近年は民芸としての素朴な美しさが注目されています。



【生産者】
☎ 仁人竹工房
☎ 0857-29-4392
鳥取市末広温泉町114

淀江傘

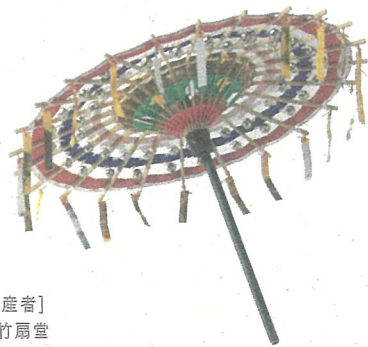
淀江傘の起源は江戸時代文政四年と言われています。番傘、蛇の目傘など実用に富み丈夫なことで知られ、蛇の目の形（亀甲、梅型）や特有の糸飾りに特色があります。



【生産者】
☎ 淀江傘伝承の会
☎ 0859-56-6176
米子市淀江町淀江796

因幡の踊り傘

因幡の踊り傘は、江戸末期から伝わる雨乞い踊りに剣舞の型を取り入れた勇壮な振り付けをした無形文化財「因幡の傘踊」に使用される傘です。現在は、粘りがあり、より耐久性のある真竹と丈夫な因州和紙を使用し、骨の割りを大きくするなど、強さ、耐久性を主眼に製作しています。



【生産者】
☎ 竹扇堂
☎ 0857-29-8284
鳥取市行徳2-432

鹿野すげ笠

鹿野すげ笠の起源は、約四〇〇年前、鹿野城主亀井茲矩が農村振興の一助に、副業として奨励したことに始まるとされています。昭和の半ばまで、田畑での農作業用笠として晴雨によらず使用された必需品でした。菅は、軽く、晴れた日は乾燥して縮んで通気性が良くなり、雨の日は湿気で膨らむため、笠の目が詰まり雨を通さないという利点があります。



【生産者】
☎ 鹿野すげ笠を守る会
☎ 0857-84-2720
鳥坂市鹿野町鹿野1381

その他

和太鼓

江戸時代から二〇〇余年にわたり伝統と技を受け継がれてきた和太鼓は、胴となるケヤキ、牛皮のなめし、そして熟練された技が三位一体となって生れます。精魂込めて作り上げた太鼓の一つ一つに魂が宿り、その鼓動が迫力ある響きとなって感動を伝えます。



【生産者】
☎ 大柄太鼓店
☎ 0859-82-0362
日野郡日商町三栄1766

出雲石灯ろう

起源は奈良、平安時代といわれ江戸時代に盛んになりました。石材に來待石（きまちいし）という粒子の細かい軟質の砂岩を使用しており、色彩もよく、早く苔による古色を帯びてきます。また、耐熱耐寒性に優れ、風化しにくい上に加工しやすいという長所があります。



【生産者】
☎ 富永石材店
☎ 0859-42-6328
境港市外江町2025-1

郷土玩具



土鈴

土鈴の歴史は縄文時代とされます。魔除けの力を持つといわれ、祭礼用に用いられてきたようです。現在では、歴史や祭礼縁起など地域にちなんだ土鈴や、干支の土鈴などを手作りで製作し、地域の情報発信にも役立っています。

[生産者]
因州若桜焼
☎ 0858-82-1217
八頭郡若桜町若桜1173

木彫人形十二支

約二〇〇年前、木地師小椋佐兵衛が、挽物を製作したのが始まりです。その流れをくむ小椋家七代目により、従来の挽物に独創的なデザインと技術を加えて木彫人形十二支が製作されました。全体を挽物細工で作り、泥絵具で彩色したもので、素朴な中にも斬新な趣があります。



[生産者]
おぐら屋
☎ 0857-72-0520
岩美郡岩美町岩井319

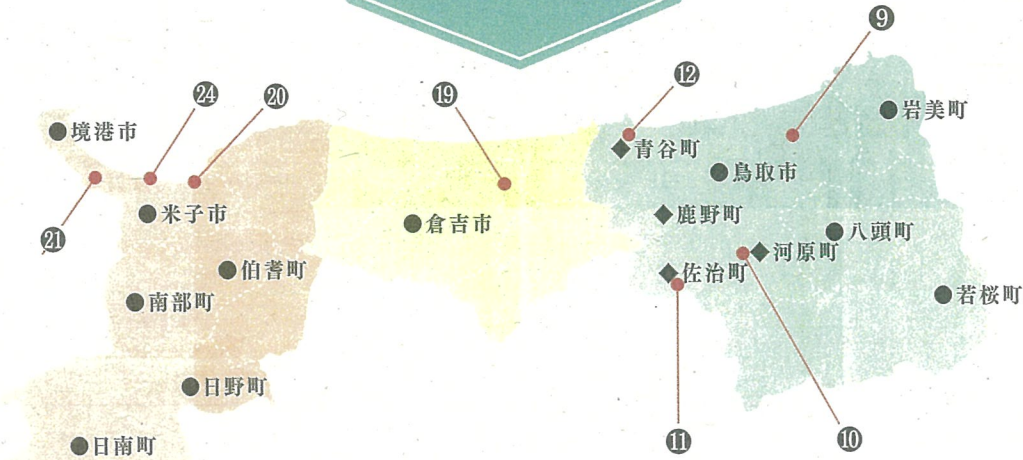
[生産者]
はこた人形工房
☎ 090-1185-9732
倉吉市魚町2529

はこた人形

江戸時代に備後の国から行商にきた備後屋治兵衛が、倉吉の素材でつましやかな娘に惹かれ、これを人形にしたといわれています。桐の木型に和紙を張り、重ね、張り子を型から抜き取り、胡粉で下地を塗り、泥絵具で彩色し、にかわでつや出をした張り子細工です。



伝統工芸品 マップと 手仕事品 販売所紹介



- 境港市
 - ・弓浜緋
 - ・出雲石灯ろう*
- 米子市
 - ・弓浜緋
 - ・筒書き
 - ・法勝寺焼
 - ・皆生窯
 - ・淀江傘
- 倉吉市
 - ・倉吉緋
 - ・綾綴織
 - ・福光焼
 - ・上神焼
 - ・上神焼上神山窯
 - ・国造焼
 - ・はこた人形*
 - ・竹細工
 - ・刳物・指物
- 鳥取市
 - ・麒麟獅子
 - ・竹細工
 - ・因幡の踊り傘
 - ・流しびな*
- ◆ 鹿野町
 - ・鹿野すげ笠*
- ◆ 青谷町
 - ・因州和紙
 - ・山根窯
- 八頭町
 - ・因久山焼
 - ・桐箱
 - ・麒麟獅子
- 若桜町
 - ・挽物
 - ・土鈴
 - ・鍛冶製品*
- ◆ 河原町
 - ・牛ノ戸焼
 - ・因州・中井窯
- 岩美町
 - ・岩井窯
 - ・延興寺窯
 - ・浦富焼
 - ・木彫人形十二支
- ◆ 佐治町
 - ・因州和紙
- 南部町
 - ・法勝寺焼
 - ・松花窯
- 伯耆町
 - ・大山友禪染
 - ・大山焼久古窯
- 日野町
 - ・刳物・挽物
- 日南町
 - ・和太鼓

[*]は現在のところ伝統工芸士不在だが、保存会などにより生産されている。

「鳥取県東部の民芸品を販売」



10 道の駅清流茶屋
かわはら

【品目】
陶磁器
木工
和紙
郷土玩具

P14参照

鳥取市河原町高福837
☎ 0858-85-6205
① 9時～19時(3～11月)
② 9時～18時(12～2月)



「佐治地区の因州和紙ならこ」



11 和紙工房
かみんぐさじ

【品目】
和紙
紙漉き体験
もできます。
うちわ作り
も人気。

P14参照

鳥取市佐治町福園146-4
☎ 0858-89-1816
① 9時～16時30分
水曜日休



「因州和紙製品を販売」



12 あおや和紙工房

【品目】
和紙
紙漉き体験
もできます。
ランプ作り
も人気。

P14参照

鳥取市青谷町山根313
☎ 0857-86-6060
① 9時～17時
月曜日休(祝日の場合翌平日休)



「ホテル内の伝統工芸品販売コーナー」



7 ホテルニューオータニ

【品目】
和紙
郷土玩具
木工

鳥取市今町2-153
☎ 0857-23-1111
① 8時～20時



「創業60年を超える竹製品の老舗」



8 竹豊工芸

【品目】
竹工
木工
陶磁器
染織物
郷土玩具
和紙

鳥取市東品治町113
☎ 0857-22-3295
① 10時～16時
月曜日休



「各種お土産販売から観光案内も」



4 まちパル鳥取

【品目】
陶器
木工
和紙
染織物
郷土玩具

鳥取市末広温泉町160
☎ 0857-36-3767
① 9時～19時



「吉田璋也の開いた民芸品店」



5 たくみ工芸店

【品目】
陶磁器
和紙
染織物
郷土玩具
木工

鳥取市栄町651
☎ 0857-26-2367
① 10時～18時
水曜日休



「博物館内の民芸品販売コーナー」



1 鳥取県立博物館
ミュージアムショップコーナー

【品目】
郷土玩具
染織物
和紙
木工

鳥取市東町2-124
☎ 0857-27-9520
① 9時～17時
月曜日不定休



「鳥取県の主な民芸品がそろいます」



2 城下町とっとり交流館
高砂屋

【品目】
和紙
陶磁器
染織物
郷土玩具
木工
竹工

鳥取市元大工町1
☎ 0857-29-9024
① 9時～19時
月曜日休(祝日の場合翌平日休)



「浦富焼ならこ各種体験教室も」



3 工芸集(つれ)

【品目】
陶磁器
染織物
竹工
木工
ガラス

鳥取市川端1-104
☎ 0857-26-6156
① 10時30分～17時30分
木曜日休



【自動車】

	鳥取	倉吉	米子
東京	8時間	8時間40分	8時間40分
大阪	2時間30分	3時間20分	3時間20分
岡山	2時間30分	3時間	2時間
広島	4時間	3時間20分	3時間
福岡	7時間10分	6時間40分	6時間

【高速バス】

東京～鳥取(夜行)～約9時間35分	大阪～鳥取(昼・夜行)～約2時間55分
～米子(夜行)～約10時間20分	～倉吉(昼・夜行)～約3時間40分
	～米子(昼・夜行)～約3時間35分
名古屋～米子(夜行)～約8時間25分	※所用時間は便により異なります。

【列車】

東京・名古屋・京阪神方面	鳥取	大阪～鳥取 約2時間20分	智頭急行「特急スーパーはくと」
九州・山陽方面	鳥取	岡山～鳥取 約1時間40分	智頭線・田美線「特急スーパーいなば」
東京・名古屋・京阪神・九州・山陽方面	米子	岡山～米子 約2時間	伯耆線「特急やくも」

【飛行機】

東京(羽田空港)～全日空(ANA)～鳥取砂丘コナン空港	1時間15分
東京(羽田空港)～全日空(ANA)～米子鬼太郎空港	1時間20分

※鳥取砂丘コナン空港～鳥取駅(約20分)、米子鬼太郎空港～米子駅(約30分)に連絡バスがあります。
*発着時刻、便数、運行状況は前向きに変更になる場合があります。運行等の詳細は各航空会社などでご確認ください。

鳥取県へのアクセス

「山陰のいいものセレクトショップ」



【品目】
陶磁器
和紙
木工など

24 今井書店 本の学校内
しまとり

P14参照

米子市新開2-3-10
☎ 0859-21-4050
🕒 9時～22時



「こだわりセレクト山陰の美しい器」



【品目】
陶磁器

23 セノワール
C・N・O・I・R

米子市尾高町73
☎ 0859-22-4341
🕒 10時～19時
不定休



「鳥取・島根の手仕事作家作品を販売」



【品目】
陶磁器
郷土玩具
染織物
木工など

22 高島屋 4階
ギャラリーE.N

米子市角盤町1-30
☎ 0859-22-1111
🕒 10時～18時



20 淀江和傘 伝承館
「淀江傘の生産拠点」
【品目】
和傘
体験
見学・体験ご希望はお電話ください。

米子市淀江町淀江796
☎ 0859-56-6176
🕒 9時～17時 日・祝・月曜日休

19 くらよし 駅ヨコプラザ
【品目】
陶磁器
郷土玩具
和紙
染織物

☎ 0858-24-5333
🕒 7時30分～19時30分

21 ごとう 餅店
【品目】
染織物
弓浜餅のバッグや、のれんなどもあり

米子市彦名町4261-1
☎ 0859-21-9063
🕒 訪問時要連絡

倉吉駅併設 食品の品揃えも豊富

☎ 0858-24-5333
🕒 7時30分～19時30分

☎ 0859-21-9063
🕒 訪問時要連絡

☎ 0858-24-5333
🕒 7時30分～19時30分



18 はこた 人形工房
「倉吉の郷土玩具はこた人形を製造・販売」
【品目】
郷土玩具
体験
はこた人形の顔描き体験ができます。

倉吉市魚町2529
☎ 090-1185-9732
🕒 10時～17時 水曜日休

17 Saon
【品目】
ガラス

倉吉市魚町2521-1F
☎ 0858-38-9023
🕒 10時～18時
火曜日休

16 COCCOROSTORE
【品目】
陶磁器
郷土玩具
木工・竹工
和紙
ガラス
鍛冶

倉吉市魚町2516
☎ 0858-22-3526
🕒 10時～18時
火・水曜日休

15 赤瓦三号館 中野竹藝
【品目】
竹工

倉吉市東仲町2573
☎ 0858-23-7500
🕒 9時～17時
年中無休

☎ 0858-38-9023
🕒 10時～18時
火曜日休

☎ 0858-22-3526
🕒 10時～18時
火・水曜日休

「店内には貴重な織り機の展示も」



【品目】
染織物
陶磁器

13 倉吉ふるさと工芸館

倉吉市東仲町2606
☎ 0858-23-2255
🕒 9時～17時
水曜日休



「ギャラリー・展示スペースもあり」



【品目】
陶磁器
郷土玩具
和紙
うちたての手打ち蕎麦も味わえる。

倉吉市新町1-2429-5
☎ 0858-23-1821
🕒 10時～17時
木曜日休



「様々な種類の竹製品を販売」



【品目】
竹工

15 赤瓦三号館 中野竹藝

☎ 0858-23-7500
🕒 9時～17時
年中無休

